

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立氷丘南小学校

1 教育目標

主体的に学び思いやりの心を持ち 判断できる 自立した児童の育成

2 基本方針

めざす児童像

- すすんで挑戦し続ける子ども
- 認めあい支えあう心豊かな子ども
- 社会や地域に役立つとする子ども

めざす学校像

- ◆児童が毎日楽しいと思える学校
- ◆保護者や地域の方から信頼される学校
- ◆教職員が心も体も元気に働ける学校

3 指導目標

- (1)豊かな心の醸成とホッとできる居場所づくり
- (3)地域とともにある安全な学校づくり

- (2)令和の時代を生き抜く確かな学力・健やかな体の育成
- (4)教職員の資質向上

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1)豊かな心の醸成とホッとできる居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市いじめ防止対策計画に基づいた教育の推進 ・考え議論する道徳教育の推進 ・特別な配慮を要する児童に応じた教育の推進 	A	月に1回アンケートを取るなどして、相談しやすい雰囲気をつくる。道徳の授業では、さらに児童が意見を述べる場を設定する。
(2)確かな学力・健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・協同的探究学習の理念による質の高い授業づくり ・学習用端末を活用した個別最適な学びの充実 ・情報モラル・活用能力の育成 	B	学習用端末は、毎日持ち帰り、家庭学習でも積極的に活用するようにする。保護者との連携を図るため、情報モラル教室も学校行事と合わせて開催する。
(3)地域とともにある安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる図書館教育の充実 ・地域ボランティアによる登下校の見守り活動等の充実 ・校種を超えた連携の充実 	A	教師が本を紹介し、興味関心をもたせ、読書の習慣につなげる。各園の状況に応じ、持続可能な活動を工夫しながら実施する。
(4)教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導 ・協働性、同僚性 ・危機対応力 	A	勤務時間の適正化を図ることは必要だが、隙間の仕事は声をかけ合って、チームとして動けるようにする。

自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
毎日学校が楽しいと言って登校しているので安心している。道徳の授業は、一人一人が自分のこととしてしっかりと考えられるような授業を進めていってほしい。	A
情報モラル教室は保護者の参加が少なかったのが残念である。家庭にも啓発をしてたくさんの保護者が参加できるような工夫を期待する。	B
図書ボランティアの活動はとてもよくできている。読書習慣は家庭教育でもできる。家庭とも連携して進めてほしい。	A
先生方は、熱意をもって、細やかに児童に接してくれている。チームとしてコミュニケーションを図りながら業務に取り組んでほしい。	A